

N
にぎやか
しずか
S



01 コンセプト

NとSの共存

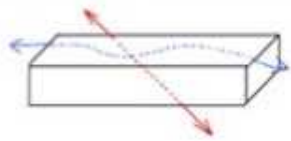
この社員寮には、様々な地域から様々な分野の人が集まっている。

その上でこの広場で、どのような人がどのように過ごすのかを想像したときに行為を限定したくないと感じた。

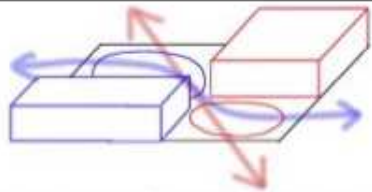
「過ごし方」というのは、大きく分けて「しずか」と「にぎやか」の大きく2つに分けられる。この磁石でも真逆の性質を持つような相反するものごとを共存させる設計をした。

02 ダイアグラム

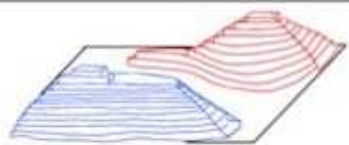
03 プランニング



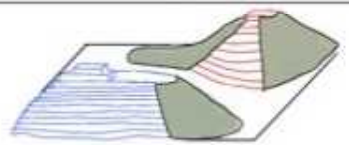
全体的にボリュームがあると視線も抜けないし、動線もない



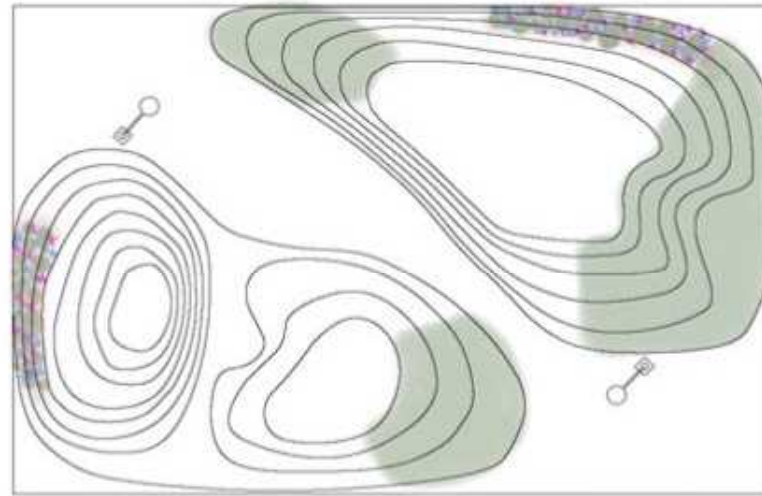
視線の抜けと動線を確保するために、2つのボリュームと2つの広場に分ける



2つのボリュームを段々のある山にすることで過ごす場所を作り出す



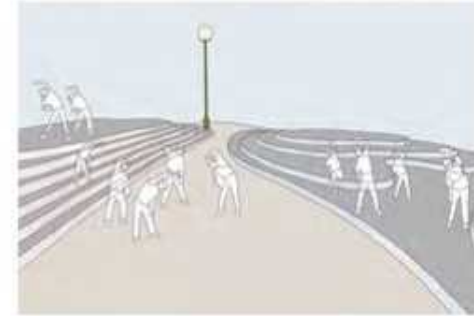
芝生を敷いたなだらかな斜面を作ること寝転ぶなど、過ごし方にバリエーションを与える



平面図 1/200



夜は街灯を一時的に消すことで星を眺めることが可能



朝は広場でラジオ体操の音楽を流し住民たちの健康維持の場とする



250×200

階段を上り下りするのに丁度良い



450×200

椅子に腰掛けるの一緒



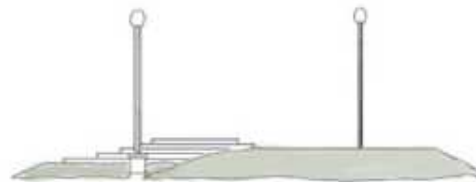
650×200

少し深めにゆったり腰掛ける



1100×200

寝転がれる



東側立面図 1/200

道路側(東側)の山を低くし、寮側(西側)の山を高くすることで、道路側からの見たときに奥にも何かあると思ってもらえる
→奥に何かあるのだらうと興味を持ってもらえる



北側立面図 1/200

共用棟からの眺めが山で遮られて何も見えなくならないように、共用棟に近い方の山は低くなるようにした

+
花壇を設けて眺めが悪くならないようにした